

## 二村英文前図書館長

### 離任の言葉

館長在任期間も含めて七年三か月、大変お世話になりました。図書館に新しい役割が求められつつある中で、多くの皆さんとの関わりは大切な財産と思いい出になりました。今、図書館は新館に向けて歩み出しています。みんなの手を取り合って、笑顔で開館の日を迎えて欲しいと願っています。

落合事務所 二村英文



第106回ミニゼミ「図書館の裏側見せます」で参加者に説明の二村図書館長（当時）

## 令和元年度蔵書貸出冊数実績について

ついて

その中から人口比で特に貸出冊数が多い「川上公民館図書室」を紹介します。川上地区1人当たり貸出冊数は6・6冊で市平均3・7冊を大幅に上回っています。その取り組みの特徴は、毎月テーマを決め、図書室の他に入館者に良くわかる場所、関連する一般書・児童書を新刊書などと共に展示し、貸出可能にしています。川上公民館図書室は、語らいの里の湯に来た人たちにも利用が出来ます。六月のテーマは一般向けに「ストレス解消！心と身体に効く癒しの本」、子ども向けに「人と動物の不思議がわかる本」。七月のテーマは「得した気分のアンソロジー」※、「七夕にちなんだ本」です。七月二十三日（木）～二十五日（土）の「せせらぎ図書館まつり」では「お楽しみパック」などが用意されました。

会館入口ホールに設けられたテーマ本や新刊書の書架



※アンソロジー：異なる作者による作品を集めた本

## 八月の企画展示

テーマ…「古代エジプト展に寄せて」愛知県美術館で9月から開催されるライデン国立古代博物館所蔵の展示会に関連する、文化振興課による企画展示です。また、第120回ミニゼミも「ミイラと棺」古代エジプト人の願った来世の生を」を8月21日（金）開催予定です。詳細は図書館内に表示します。

## 六月・七月の企画展示

テーマ…「持続可能な地域（中津川市）の実現に向けた取り組み！第一弾」中津川市の約80%を占める森林について」

### 【展示のポイント】

- ・東濃ひのきの歴史と魅力、現状と課題、森林をよみがえらせる施策
  - ・50年、100年を見据えた森づくり
  - ・魅力ある森林の仕事：次代を担う人々への取り組み、重機を活用した森づくりなど
  - ・中津川市林業振興課との協働企画展示
- ※8月坂下公民館図書室にて展示します。



「魅力ある森林の仕事」

◇十月の企画展示は「持続可能な地域の実現に向けた取り組み第二弾」地域の農業振興について」を予定しています。

# ステイホーム中こんな読みました！

中野正道

- 『夏草の賦』 司馬遼太郎
- 『黄金の天馬』 津本陽
- 『超巨人 明の太祖 朱元璋』 堺屋太一
- 『シヤドー8』 ルシアン・ネイハム

前三冊は好きな歴史小説で、この際もう一度読んでみた。四国を征服した風雲児の長宗我部元親、合気道創設者の植芝盛平、明の創設者の朱元璋を主人公にした大河小説。何度読んでも興味が尽きない。

『シヤドー8』は、たった一人でステルス戦闘機を盗んで、ボーイング707をハイジャックするスリル満点の壮大なエンターテインメント。次回作をみんなが熱望したのだが、ルシアン・ネイハムはこの一作(1975年)だけで、1983年に亡くなってしまった。四十五年たった今でも惜しむ声がある。

桑澤芳江

- 『花咲舞が黙っていない』 池井戸潤
  - 『希望の糸』 東野圭吾
  - 軽く読める本。
  - 『国銅』上下 帚木蓬生
- 歴史好き向けの読み応えがある本。奈良の大仏建立に関わった人達の想像を絶する苦難。

間 裕子

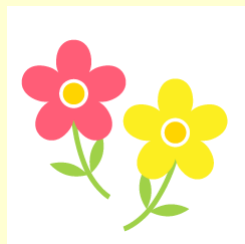
『ペスト』 A・カミュ  
人は不条理に直面した時、どんな行動をするのか。こんなご時世でもなければ一生読まなかったであろうな。難しい箇所もあったけれども、読み応えがある。

えがある。

Eテレの月曜夜に放送されている「100分名著」のテキスト『ペスト』と一緒に読むと参考になる。

『猫を棄てる』 村上春樹  
亡くなった父親について書いたもの。いつものハルキワールドではなく、息子としての村上春樹世界。しみじみと読む。

『メインテームは殺人』 A・ホロヴィッツ  
作者はイギリスのTVドラマ「刑事フォイル」の脚本家。前作はA・クリステイヤーへの賛辞だったけれど、今回は現代の「ホームズとワトソン」の形式をとっている。最後は「やられた！」の一言。



捫垣智子

- 『希望の糸』 東野圭吾
- 『星・月・夜』 伊集院静
- 『羊の目』 伊集院静
- 『天涯の花』 宮尾登美子
- 『古代エジプト』 吉村作治

桑澤宏康

『禿鷹の要塞』 荒山徹  
秀吉の朝鮮出兵で、平壤まで到達した豊臣軍と闘った素人集団の物語。ボロボロになりながらも知恵に富んだ作戦で勝利した。著者は韓国通で、小説『白村江』の著者でもある。

『菜の花の沖』 1〜6巻 司馬遼太郎

淡路島、関西、北海道、国後、樺太を舞台にして、江戸幕府、更にロシアとの関わり、当時の国家体制や取り巻く人々などを興味深く読んだ。

高田屋嘉兵衛は、田沼意次や松平定信が治めていた時期に、極貧の少年時代から奮起して、樽廻船の水夫となり、のちに北前船交易や太平洋沿岸航路を拓き千石船の船主兼船頭で財を築く。函館の街をつくった。ロシアに拿捕されたが、後にロシアと江戸幕府との外交にも貢献した。波乱万丈な人生を送った。しかし封建社会の体制下では継続できず、一代限りの事業であった。その後函館は漁業の街として栄えた。

## ◆公民館図書室の企画展示(8月)

☆坂下図書室 「持続可能な地域の実現に向けた取り組み！第一弾〜森林〜」

☆山口図書室

「東京オリンピック・パラリンピック」

☆川上図書室 「恵那山特集&セルローズオブナノファイバーについて」

☆福岡図書室

「郷土の作家特集」

☆付知図書室

「青木斧戸線発掘調査報告」

素敵な街には 素敵な図書館があり

元気な街には 充実した図書館あり！

図書館は0歳〜100歳みんなの居場所です！

図書館くらぶ 会長 桑澤宏康

TEL (66) 0249